

・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

※ただし、4月18日に調査を実施していない学校については、4月19日以降4月28日までに実施した調査の結果を集計した値とする。

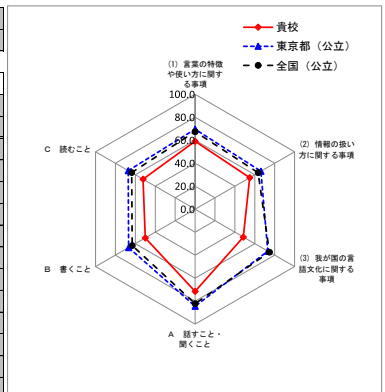
集計結果

対象生徒数		江戸川区立鹿本中学校	東京都（公立）	全国（公立）
		132	71,460	892,738

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)			
			貴校	東京都（公立）	全国（公立）	
全体			57	72	69.8	
学習指導 要領の 内容	知識及び 技能	(1) 言葉の特徴や使い方に 関する事項	2	59.1	69.6	67.5
		(2) 情報の扱い方に 関する事項	2	54.9	66.2	63.4
		(3) 我が国の言語文化に 関する事項	3	48.5	73.1	74.7
	思考力、 判断力、 表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	71.5	84.4	82.2
		B 書くこと	2	50.0	66.8	63.2
		C 読むこと	4	52.3	67.2	63.7
		知識・技能	7	53.4	70.1	69.4
評価の観点	思考・判断・表現	9	58.2	72.9	69.7	
	主体的に学習に取り組む 態度	0				
	選択式	7	66.7	75.9	73.1	
問題形式	短答式	4	43.2	65.6	65.6	
	記述式	4	52.7	70.8	68.0	

※「学習指導要領の内容」と「評価の観点」については、一つの問題が複数の区分に該当する場合があります。それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合があります。

<学習指導要領の内容の平均正答率の状況>



現状把握(調査問題から見た課題)

- ・全国の平均正答率、都の平均正答率と比べ、全ての領域において下回っている。
- ・漢字や古典などの作品の基礎知識の定着が課題である。
- ・問題形式において、特に自分の知識や経験から結び付け、自分の考えを書く記述式に対して、解答意欲と正答率が低いことがわかる。

指導改善のポイント

- ・基礎基本の知識・技能を計画的に継続的に伸ばしていくための授業計画を立てる。
- ・教材をしっかりと読み解き、視野を広げることによって、自分の考えをもち、それを表現できる実践的な力を付ける授業計画を立てる。
- ・基礎的な知識及び技能の習得と思考力・判断力・表現力に基づく問題を、解決する能力を確実に身につけさせるため、「授業のねらい」を明確にし、生徒が授業中に理解できるように、指導方法を組み立てる。